

小中一貫教育だより

義務教育9年間を一体的に捉え、めざす児童生徒像を共有し
学習面・生活面を系統化した教育活動

四街道市教育委員会 指導課
No. 7 4

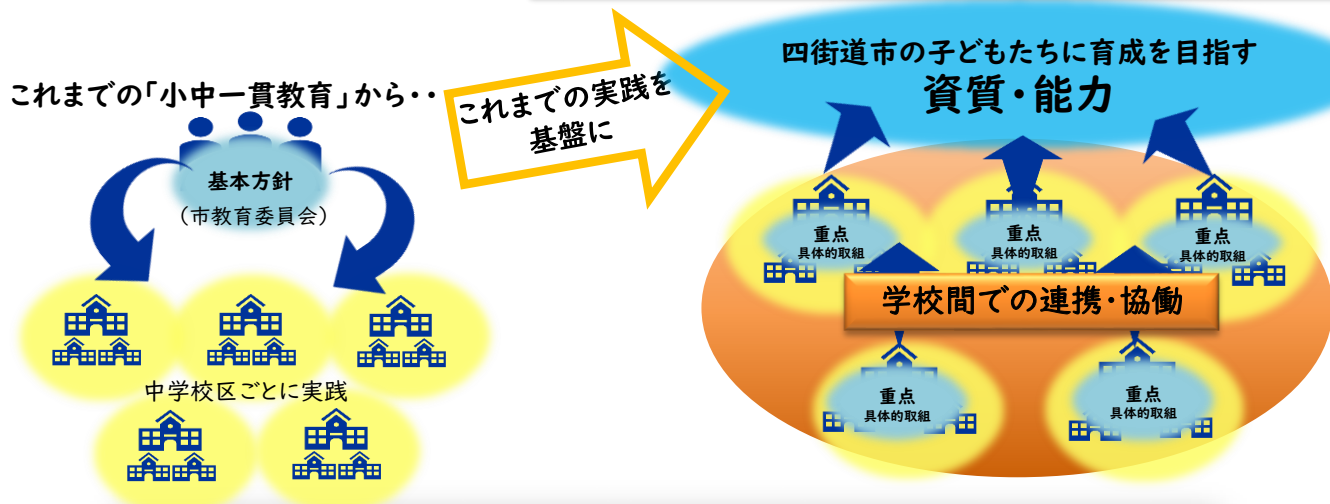
「小中一貫教育」は新しいフェーズへと移行します

～「小中一貫教育」から「義務教育9年間を見通した連続性のある教育」へ～

これまで各中学校区では、市教育委員会作成の小中一貫教育基本方針を基に小中学校教職員が相互理解のもと、学びの系統性や連続性を重視した学習指導や、9年間の発達に応じた生活指導等を行ってきました。これらの取組みを通して、共通理解や相互連携体制の構築を図り、義務教育9年間を見通した連続性のある教育活動が定着してきました。

令和6年度からは、これまでの小中一貫教育の実践を基盤に、各中学校区での学校間の連携・協働のもと自立した学校運営を行い、それぞれの実態に応じた教育活動に取り組んでいきます。

「義務教育9年間を見通した連続性のある教育」へ



小中一貫教育コーディネーター会議

2月に開催された小中一貫教育コーディネーター会議では、まず、各中学校区の小中一貫教育推進の取組を振り返り成果と課題について議論しました。「先生方が子どもたちの9年間の成長を意識して教育活動にあたることができた」等の成果を感じている一方で、「先生方の負担軽減に向けて、より効率的な取組が必要」等の課題も挙げられました。

会議では最後に「めざしたい中学校区像」について議論を進めました。様々な意見が出されましたが、最終的に全ての中学校区が、共通して掲げた内容がありました。それは、

「子どもたちのために、小中学校全教職員が、同じ意識(目標)で教育活動にあたる」という主旨のものでした。

「義務教育9年間を一体的に捉え、めざす児童生徒像を共有し学習面・生活面を系統化した教育活動」という、本市の小中一貫教育が目指す姿が、確実に定着されてきたことが感じられる会議となりました。

